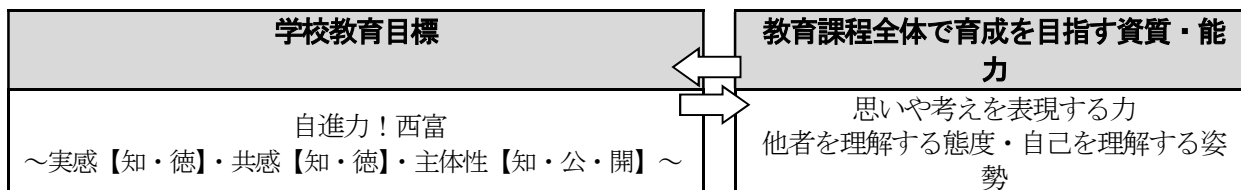


横浜市立西富岡小学校 令和3年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力



(2) 中期取組目標

中期取組目標
○全職員がチーム力を生かしながら児童理解や児童指導に取り組み、子どもたちが安心して生活でき、学習の基礎能力を高める学校を作ります。
○あいさつ運動やたてわり活動を通して、集団の中で一人ひとりが輝きながら成長できる学校を作ります。
○インクルーシブ教育システム構築のため子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた学校を作ります。
○小中一貫ブロックや家庭・地域と連携し、キャリアを意識して形成できる教育活動を進めます。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
社会科 生活科	研究主題 「自ら問いを見つけ、本気で考えを深めようとする子どもの育成」 ①学習に対して見通しをもち、自ら主体的に学習に取り組む姿勢を育てていく。 ②自らの学習をふり返り、学習の自覚化・調整する力を育てていく。 ③教材や友達との対話を深め、気付きの質を高め、実感を伴った学びを獲得できるように働きかけていく。
担当 重点研 推進委員会	

2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

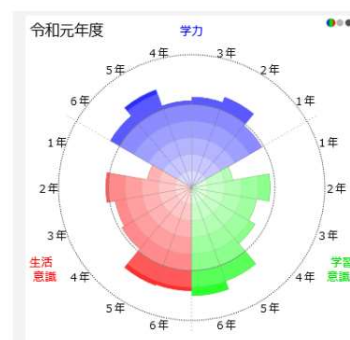
(1) 学力の概要と要因の分析

全体的に、学力の基礎・活用の多くの項目で横浜市の平均を上回っている。また、「勉強が好きですか。」という質問に対し、「好き」「どちらかという好き」という肯定的に答えた児童は、どの学年も7割を超えている。「学校の授業は、分かりやすいか」という質問に対しても、学年が上がるにつれて肯定的に答えている。これは、これまでの重点研究を通して、子どもが主体的に学習に取り組み、学びの中で知識を獲得していく授業づくりの成果といえる。

しかし、学力の面で市の平均よりやや下回る項目や、学習意識、生活意識が低学年ほど市の平均を下回る傾向が見られる。また、学んだ内容をノートに自分なりに工夫してまとめるという意識の割合が高いが、それを発表する割合が市の平均を下回っている学年もある。その課題を解決するためには、重点研究を通して、見通しをもち自信をもって問題解決に向けて取り組めるような学習が必要と言える。

(2) 教科学習の状況

- **国語科**：どの学年も基礎・活用は市の平均を上回る。朝読書や西富チャレンジを通して読書活動の充実や漢字の定着に取り組み、どの単元も言語活動を軸とした授業に取り組んできた成果だと言える。
- **社会科**：どの学年も活用は市の平均を上回り、中でも「社会的な思考・判断・表現力」の通過率が高い。自分なりに社会的事象の意味について考え、適切に表現することができている。また、教科書の内容だけでなく、児童が考えなくなる教材開発に取り組んできた成果が表れてきたといえる。
- **算数科**：多くの学年で活用の項目が市の平均より大きく上回っている。少人数やスキルタイムでの成果から基礎・基本の定着を図り、知識を活用して問題を解くことができている。
- **理科**：市の平均を下回る項目があり、観察や実験を通し、体験から知識の定着を図る必要がある。



3 令和3年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	<ul style="list-style-type: none"> ○感じたことを言葉にする力 ○問題を発見する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達と楽しく過ごせることに気付き、進んで楽しい学校生活を過ごそうとする気持ちをもてるようにする。 ○自分の経験と結び付けて感想や考えをもち、友達の考えをうなずきながら聞いたり、分からないことや知りたいことを尋ねたりしながら学び合えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友だちと過ごす中で、友だちの気もちについて考えたり、寄り添ったりできるようにする。 ○自分のもった思いや考えを、言葉を通して振り返り自分から伝えようとするができる。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ○主体性・積極性 ○自分なりのイメージをもつ力 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的な学習を繰り返し指導し、既習事項の定着を図るとともに、自分なりの思いをもち、それを実現しようと、意欲的に学習に取り組めるようにする。 ○何を問われているのかを読み取り、自分の考えを相手に伝わるように、言葉や図などで表現できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思いの実現や課題の解決のために、既習事項を基に考えたり、知識と知識を関連付けて考えたりして、意欲的に学習に取り組めるようにする。 ○気付きや思い、考えを自分なりの表現方法で表したり、相手の気付きや思いに寄り添って自分の思いや感じ方、考えを伝えたりできるようにする。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ○伝え合うことで自分の考えを深化させる力 ○解決策を実行する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○話し手が伝えようとするのを考えて聞いたり、自分の考えに理由をつけて伝えたりできるようにする。 ○何を考える時間なのか課題を明確にし、子ども自身が「問い」をもって課題を追求していけるよう学習を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友だちが、何を伝えようとしているのか考えながら聞いたり、友だちが納得できるように理由をつけて話したりする指導を繰り返す。 ○子どもたちが、毎時間、何を考える時間なのか、「問い」をもって学習できるように課題を明確にし、子ども自身が課題を追求していける学習展開を作っていく。
4年	<ul style="list-style-type: none"> ○他者を理解する態度・自己を理解する姿勢 ○内省の習慣 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題意識をもち、学習の見通しをもって調べたり、資料を効果的に活用して説明したりできるようにし、学んだことを学習や生活に生かせるよう指導する。 ○自分と友達との考えを比較して、自分の考えを広げたり深めたりできる場面を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○見通しをもち、調べたり解決したりしたことをまとめ、もう一度自己の学びを振り返り、学習調整を行う力を育むようにする。また、学んだことを内省できる力を育てる。 ○学び合いを通して、習得した知識・技能を活用する場面を設ける。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ○目的や意図に応じて伝えるべきことを整理する力 ○意思決定する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○話し合い活動を計画的に行い、話し手の意図をとらえて聞く力や、相手の考えをふまえて自分の考えを述べる力を高める。 ○学習の見通しをもって調べ、学習方法を調整しながら資料を効果的に活用して説明したり、学んだことを内省したりする力を育てる ○資料を活用したり、目的や意図に応じて伝え方を工夫したりすることで、自分の考えが伝わるように表現する力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話し合い活動の中で、相手の考えを、自分の考えと比較したり関連付けたりしながら、共感的に聞く力を高める。 ○学習対象に対して、既習や自分の経験、相互の考えを生かしながら、学習問題や学習計画を立て、主体的に解決する授業づくりを行う。 ○学習の見通しをもって調べたり、自分で課題に対して学習方法についても調整しながら資料を効果的に活用して説明したりできるようにする。また、学んだことを内省できる力を育てる。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ○考えを伝え合い他者と共同的に問題解決する力 ○問題解決の過程を振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> ○話し手の意図をとらえて聞く力や、根拠を明らかにしたり、他者の考えと関連付けたりしながら自分の考えをもち、伝える力を育てる。 ○学習の対象に対して、問いを見だし、自分なりの予想をもち学習計画を立てる力、見通しをもって調べたり、話し合ったりしながら解決していく力を育てる。 ○学習したことや自分の学び方を振り返り、次の学習に生かす力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話し手の意図をとらえ、共感的に反応を返ししながら聞く力や、根拠を明らかにしたり、他者の考えと関連付けたりしながら自分の考えを伝える力を育てる。 ○学習の対象に対して、問いを見だし、自分なりの予想をもとに学習計画を立てる力や、見通しをもって調べたり、話し合ったりしながら解決していく力を育てる。 ○学習したことや自らの学び方を振り返り、次に調べ、考えていくことや役立てたい学び方を見つけ、新たな学びをつくっていく力を育てる。
個別支	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉による伝え合い ○自立心 	<ul style="list-style-type: none"> ○個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づき、話し言葉、表情、仕草、書き言葉等、発達段階に応じた適切なコミュニケーション手段を積極的に活用する場を多く設定するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づき、話し言葉、表情、仕草、書き言葉等、発達段階に応じた適切なコミュニケーション手段を積極的に活用する場を多く設定するようにする。

援学級	○思考力の芽生え	○子どもに応じたわかりやすい情報発信をするなど言語環境の整備を行う。	○自分と友達の考え方や感じ方の違いを理解し、自他を認め合う心を育む。
-----	----------	------------------------------------	------------------------------------